

新宿調理師専門学校から 温かな応援が届きました

「新宿調理師専門学校（上神田梅雄校長／東京都新宿区）」は生徒と職員による被災地訪問を続けています。昨年は「いいたてホーム」の職員に、手作りの弁当を届けてくださいました。その後、道の駅の開業にも応援をいただき、さらには10月6日、今度は村の職員へ、激励の弁当を、約50人で届けてくださいました。「美しい村の悲運を知り、尽力する皆さんに、手から手へ、感謝と労いの弁当をお届けした」と上神田校長。職員一同、感激と共においしい弁当をいただきました。



道の駅の清掃、漬物の販売などもしていただきました

「参加できてうれしい」と清水星香さん（右）、「笑顔を思い浮かべて作りました」と野口理紗さん

生徒の皆さん
ありがとう
でした

万葉のロマンにひとり 心地よい音楽にいやされて

10月9日、交流センター「ふれ愛館」で、「万葉と音楽でいいたてを感じる」というイベントが開かれました。主催は有志による「ふるさと飯館で“自分らしく”生きよう会」。万葉学者の上野誠氏、「飯館村を歩く」を著した影山美知子氏、菅野義人さん（比曾）、菅野村長による座談会「万葉集からみたふるさと飯館」をはじめ、健康ワークショップ、コンサートと内容も盛り沢山。お好み焼きや甘味、いいたて愚真会の手打ちそばなども振る舞われ、参加者はリラックスして1日を楽しんでいました。



聴衆参加型の楽しいコンサート。いきいきと躍動するステージ、美しい音楽が心を満たしました

大久保・外内復興組合 集会を開いて情報を共有

10月15日、「大久保・外内復興組合」が、同地区の資源回収所で集会を開きました。集会では、農業基盤整備を進めるための話し合いが行われ、今年区内で行った実証栽培の測定結果も報告されました。また、福島大学・新潟大学から、野菜や小麦の実証を行う先生方を招き、バーベキューを味わいながら交流。福島大学からは学生も参加して、エゴマの栽培に関連する研究成果を発表しました。毎月の草刈りなどでも力を合わせる地区の皆さんの地道な取り組みが続きます。



実証栽培を行う大学の先生や学生も交えて、いっそう有意義な協議と交流が行われました

秋晴れの下で元気ハツラツ パークゴルフ大会

9月26日、村老人クラブ連合会が主催する6回目のパークゴルフ大会が、「第3回福島民報社杯」を兼ねて開催されました。会場は、福島市の瀬上河川敷パークゴルフ場。好天にも恵まれ、61人が笑顔で大会を楽しみました。熱戦の結果、僅差の勝負を制して優勝したのは、男性の部が大河内敏彦さん、女性の部が中島友子さんでした。仲間と楽しむ大会は、終始にぎやかで、表彰式の後には、青空の下で弁当を味わい、互いの近況を語り合いました。



「この雰囲気がいいよね」と、コースをめぐる間も笑顔が絶えません。好プレーも続きました

お札に描かれたオオカミの 版木を村内で発見 公開へ

飯樋町で個人が所有する倉から、オオカミの座像を描いたお札の版木6枚が発見され、9月28日、綿津見神社で公開されました。版木と関連資料が眠っていた倉は、元は山中郷の陣屋の倉で、明治期から大正期に、神道系の講社が使用していたもの。調査に協力した石黒伸一朗さん（村田町歴史みらい館）が、公開に合わせて解説を行いました。宮城・福島両県を中心にオオカミ信仰を研究する石黒さんは、「民俗学的にも貴重な発見」と今後の進展にも期待を寄せました。



版木と一緒に発見されたお札、お守り、陶製のオオカミ像なども公開。写真は解説する石黒さん

これからの村づくりを探る 婦人会の視察研修

村の婦人会が、10月1日・2日に、視察研修を行いました。秋田県横手市では、雪国の気候に合わせた特徴的な建物を観光資源として生かす「増田町伝統的建造物群保存地区」を視察。「古い建物の維持は日々の手入れの積み重ね」「関わる人の誇りを感じる」など感心する声が相次ぎました。地元の方々の丁寧な対応も参考になったそうです。他にも同県酒田市・山形県鶴岡市などで研修を行い、親睦もいっそう深めた皆さん。学んだ成果を、今後の活動に生かしていきます。



山吉肥料店は現役の商店。「通り」と呼ばれる通路は塩を運搬できるよう幅広く寒暖差も緩和します